

令和 5 年 6 月 23 日現在

機関番号：14301

研究種目：基盤研究(A)（海外学術調査）

研究期間：2016～2020

課題番号：16H02726

研究課題名（和文）アフリカ狩猟採集民・農牧民のコンタクトゾーンにおける景観形成の自然誌

研究課題名（英文）Natural and cultural history of landscape formation in contact zones between hunter-gatherers and agro-pastoralists in Africa

研究代表者

高田 明（Takada, Akira）

京都大学・アジア・アフリカ地域研究研究科・教授

研究者番号：70378826

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 32,500,000円

研究成果の概要（和文）：本研究の目的は、アフリカの代表的な狩猟採集民であるサンやピグミーが、近隣の農牧民とのコンタクトゾーンにおいて、その自然・社会環境とどのように関わってきたのかという問いと、その集合的アイデンティティをどのように構築してきたのかという問いを関連づけながら探究すること、すなわちその景観形成の自然誌を描くことである。そのために、ボツワナ中央部、ナミビア北中部、カメルーン南東部という3つの地域において、見ること、歩くこと、語ることという3つのローカルな活動に関する資料を収集・分析した。さらに、これらと比較考量し、アフリカの狩猟採集民と農牧民との関わりを特徴付けている文化的構造を明らかにした。

研究成果の学術的意義や社会的意義

1. 本研究は日本の研究者が卓越した成果を上げてきた3調査地域の成果に立脚しており、他に例を見ない地域間の多面的比較を行うことができた。
2. 本研究は狩猟採集民と農牧民の相互交渉を主題とし、他者の眼差しを通して自分たちを認識する関係を論じた。これは近年人文社会科学で隆盛する承認論の文脈に狩猟採集社会研究を位置づけ、社会的な関係の中で狩猟採集民の主体性を捉えることを可能にした。
3. 本研究はローカルな活動に注目することで、言語、社会組織、文化を統合的な視点から論じた。さらに見ること、歩くこと、語ることに関する意味論的、人類生態学的、アフリカ史的な分析を取り入れ、マクロな社

研究成果の概要（英文）：The purpose of this study is to explore how the San and Pygmies, representative hunter-gatherers in Africa, have interacted with their natural and social environment in the contact zone with neighboring agro-pastoral peoples, in relation to how they have constructed their collective identity. In other words, to draw a natural history of the formation of their landscapes. To this end, we collected and analyzed data on three local activities: seeing, walking, and talking, in three areas: central Botswana, north-central Namibia, and south-eastern Cameroon. Comparisons were made to identify the cultural structures that characterize the relationship between hunter-gatherers and agro-pastoralists in Africa.

研究分野：人類学、アフリカ地域研究

キーワード：子ども 相互行為 承認 責任 問主観性

## 1. 研究開始当初の背景

2015年、ウィーンで開催された11th CHAGSで京都大学名誉教授の田中二郎博士がカナダのRichard Lee博士、英国のJames Woodburn博士と共に同会議の終身名誉会員となった。この受賞は、田中の半世紀に渡る学際的研究の功績を讃えるものだった。狩猟採集社会、中でも南部アフリカのサンの研究は、人類学史に独自の大きな貢献を行ってきた。第2次大戦後に再燃した人類社会の発展に関する議論を受け、Leeや田中は外部世界の影響が少ないサンを追い求め、それぞれ1963年にジュホアン、1966年にグイ、ガナの調査を始めた。その後、両者は学際的調査隊を組織し、サンが荒涼とした自然環境にどう適応しているのかを明らかにした。そして、サンの社会は全ての成年男女が平等に社会生活に参画する平等主義の原則に貫かれているという主張が、狩猟採集社会のモデルとして受容されるようになった。

その後、従来の研究はサンと近隣諸民族との関係史を軽視していたという批判が高まった。見直し派と呼ばれる研究者は、サンはより大きな政治経済的システムの中で下層に追いやられ、狩猟採集生活を余儀なくされた人々の集合に過ぎないと主張し、さらに、「孤立した自律的なサンの社会」という幻想を創出したと従来の研究者(伝統派と呼ばれる)を糾弾した。伝統派は、サンと近隣諸民族との接触があった地域、程度、その解釈に関して見直し派に強く反駁した。このカラハリ論争を契機として、両派の枠組みを超えてサンの歴史を復元する動きが活発になった。若干遅れて研究が盛んになった「狩猟採集民」ピグミーでも、彼らの住む熱帯雨林で狩猟採集のみによる生活が可能かどうか疑われ、近隣農耕民との関係史が注目されるようになった。その結果、一部のジュホアン等を除けば、多くの狩猟採集民が長らく近隣諸民族と政治経済的関係を持ってきたことが再認識されるようになった。その一方で、見直し派による下層階級の集合体というイメージが一面的に過ぎることも指摘されている。こうした関心と呼応し、近年は先住民の権利を求める運動が活発になっている。サン、ピグミー等はアフリカの先住民としても知られる。こうした運動を反映し、従来の研究は彼らの主体性を軽視してきたという声が高まっている。そこで、近隣諸民族や国家との関係史を見すえて狩猟採集民のエスニシティや主体性を論じることが求められている。

こうした状況で代表者らは、社会的相互行為を組織化する文化的構造を明らかにするため、サンの複数の集団(グイ、ガナ、クン、アコエ)の下で(1)エスニシティの変遷、(2)環境認識、(3)養育者-子ども間相互行為に関する人類学的調査を行ってきた。(1)では、クンに関する歴史資料やライフストーリー、親族・命名実践に関するデータを収集し、クンの「民族」としての基盤を再検討しつつある。(2)では、グイ、ガナの道探索実践(wayfinding practices)に関する動画資料、GISデータ等を収集し、その環境認識や環境利用の特徴を明らかにしてきた。(3)では、クン、アコエ、グイ、ガナの子育てに関する様々な資料を収集し、養育者-子ども間相互行為のパターンが文化的実践を通じて形成される過程を解明してきた。こうした研究は国際的に高く評価され、Current Anthropology, Linguistics, Nature Communications, Anthropological Scienceといった人類学や言語学のトップジャーナルに原著論文や招待コメントが掲載されている。

## 2. 研究の目的

上述の研究を進める中で、人々の集合的アイデンティティの形成とその環境の認識や利用が密接に結びついていることがわかってきた。こうした問題意識は、生態学的な環境に埋め込まれた人間の生命のあり方を明らかにしていこうという、人類学における最近の動向

とも響き合う。こうした問題を追究するため本研究では、代表者らの(1)エスニシティの変遷と(2)環境認識に関する研究を統合的に発展させる。現代では、大半の(ポスト)狩猟採集民が農牧民と隣接して居住し、政治経済的関係を強めている。本研究では、両者が交叉する社会空間をコンタクトゾーンと呼ぶ。そして、アフリカの代表的な狩猟採集民とされる(1)ボツワナ中央部のグイ、ガナ、(2)ナミビア北中部のクン、アコエ、(3)カメルーン南東部のバカ(ピグミーの下位集団)の各々が、近隣のバントゥ系農牧民である(1)カラハリ、ツワナ、(2)オバンボ、(3)バクウェレ、バンガンドゥとのコンタクトゾーンでどう自然・社会環境と関わり、その集合的アイデンティティを構築してきたのか明らかにする。このため、見ること(seeing)、歩くこと(walking)、語ること(narrating)という3つのローカルな活動に注目する。ローカルな活動は文化的構造に状況づけられ、その社会を研究する適切な現場となるからである。さらに3つのローカルな活動を関連づけ、各々のコンタクトゾーンで狩猟採集民がどう自然・社会環境と関わり、その集合的アイデンティティを構築してきたのか、つまりその景観形成の自然誌を描く。そして、これらを比較考量し、アフリカの狩猟採集民と農牧民との関わりを特徴付けている文化的構造を解明する。

### 3. 研究の方法

以下では、ボツワナ中央部、ナミビア北中部、カメルーン南東部のそれぞれの地域について、研究計画・方法の基本方針を記す。

1. ボツワナ中央部：まず(1)見ることにに関して、代表者による道探索実践に関する研究を発展させ、グイ語、ガナ語の地名のついた土地をグイ、ガナ、カラハリ、ツワナと一緒に訪問し、その過程をアクションカメラ(GoPro)及びビデオカメラで録画する。(2)歩くことに関しては、上述の訪問の際にGPSでその移動経路や速度をデータ化する。さらに、これと対応するカロリー収支のデータ、移動範囲の航空写真を収集する。(3)語ることにに関しては、グイ、ガナ、カラハリ、ツワナの狩猟採集やキャンプ間移動、交易に関するライフストーリーをビデオカメラで録画する。重要な部分は、現地で文字起こしを作成する。

2. ナミビア北中部：(1)見ることにについては、居住地と荒野(オバンボの基本的な景観区分で、前者はオバンボが文化化した土地、後者はサンの領域とされる)の各々をクン、アコエ、オバンボと一緒に訪問し、その過程をアクションカメラ及びビデオカメラで録画する。(2)歩くことに関しては、上述の訪問の際にGPSでその移動経路や速度をデータ化し、これと対応するカロリー収支のデータ、移動範囲の航空写真を収集する。(3)語ることにに関しては、代表者によるクンのエスニシティに関する研究を発展させ、アコエやオバンボの生業活動や親族関係、キャンプ間移動や出稼ぎ等に関するライフストーリーを収集する。

3. カメルーン南東部：まず(1)見ることにに関して、街道沿いの集落及び森でバカ、バクウェレ、バンガンドゥに同行し、その過程をアクションカメラ及びビデオカメラで録画する。(2)歩くことに関しては、上述の集落や森を訪問する際にGPSデータ、カロリー収支データ、移動範囲の航空写真を収集する。(3)語ることにに関しては、バカ、バクウェレ、バンガンドゥの会話を収録し、生業活動や民族間関係、環境認識等に関するライフストーリーを収集する。

### 4. 研究成果

以下では、年度ごとに研究成果を記す。

平成28年度は、研究員1名と事務補佐2名を採用して研究資料の収集・解析を進めた。研究代表者は南部アフリカでのフィールドワークを行い、目的に記した3つのテーマに関連した調査を行った。さらに研究代表者の本務校で8回に渡るデータセッションを行って

分析の妥当性を検討すると共に、Michaela Pelican 博士 (University of Cologne)、Charlie Goodwin 氏(University of Cologne)など国内外から研究者を招き、4 回に渡る「景観形成の自然誌コロキウム」を行って、本プロジェクトに関する議論を行った。本研究結果報告書にも記したように、研究の成果は学術雑誌論文や学術図書、各種学会・シンポジウム・講演等での発表として公表した。中でも、代表者が本研究プロジェクトの中心的な成果の 1 つとなる英文編著 *Natural history of communication among the Central Kalahari San* を出版したことは特筆すべきである。また、本プロジェクト専用の HP を作成し、プロジェクトの進行や成果を随時公開した。

平成 29 年度は、研究員 1 名と事務補佐 2 名を採用して研究資料の収集・解析を進めた。研究協力者がボツワナでのフィールドワークを行い、目的に記した 3 つのテーマに関連した調査を行った。さらに研究代表者の本務校で 10 回に渡るデータセッションを行って分析の妥当性を検討すると共に、Clemens Greiner 博士 (University of Cologne)、Thomas Widlok 博士 (University of Cologne)など国内外から研究者を招いて、「景観形成の自然誌コロキウム」を 2 回開催し、本プロジェクトに関する議論を行った。本報告書に記したように、研究の成果は学術雑誌論文や学術図書、各種学会・シンポジウム・講演等での発表として公表した。また、本プロジェクト専用の HP を通じて、プロジェクトの進行や成果を随時公開した。

平成 30 年度は、研究員 1 名と事務補佐 1 名を採用して研究資料の収集・解析を進めた。研究協力者がボツワナ、ナミビア、カメルーンでのフィールドワークを行い、目的に記した 3 つのテーマに関連した調査を行った。さらに研究代表者の本務校で 7 回に渡るデータセッションを行って分析の妥当性を検討すると共に、Mattia Fumanti 博士 (University of St Andrews)、Maitseo Bolaane 博士 (University of Botswana)など国内外から研究者を招いて、「景観形成の自然誌コロキウム」を 2 回開催し、本プロジェクトに関する議論を行った。本報告書に記したように、研究の成果は学術雑誌論文や学術図書、各種学会・シンポジウム・講演等での発表として公表した。中でも、代表者が本研究プロジェクトの中心的な成果の 1 つとなる英文編著 *Reconstructing the paradigm of African Area Studies in a globalizing world* を出版したことは特筆すべきである。また、本プロジェクト専用の HP を通じて、プロジェクトの進行や成果を随時公開した。

令和元年度は、研究員 1 名と事務補佐 1 名を採用して研究資料の収集・解析を進めた。研究協力者がボツワナ、ナミビア、カメルーンでのフィールドワークを行い、目的に記した 3 つのテーマに関連した調査を行った。さらに研究代表者の本務校で 7 回に渡るデータセッションを行って分析の妥当性を検討すると共に、Wim van Binsbergen 博士 (University Rotterdam)、Hangula Simon Hangula 氏 (Ministry of Environment and Tourism, Namibia)など国内外から研究者を招いて、「景観形成の自然誌コロキウム」を 2 回開催し、本プロジェクトに関する議論を行った。本報告書に記したように、研究の成果は学術雑誌論文や学術図書、各種学会・シンポジウム・講演等での発表として公表した。また、本プロジェクト専用の HP を通じて、プロジェクトの進行や成果を随時公開した。

令和 2 年度は、研究員 1 名と事務補佐 2 名を採用して研究資料の収集・解析を進めた。研究協力者がボツワナ、ナミビア、カメルーンでのフィールドワークを行い、目的に記した 3 つのテーマに関連した調査を行った。さらに研究代表者の本務校で 13 回に渡る南部アフリカ地域研究会を行って分析の妥当性を検討すると共に、「景観形成の自然誌コロキウム」を 1 回開催し、本プロジェクトに関する議論を行った。本研究結果報告書に記したように、研究の成果は学術雑誌論文や学術図書、各種学会・シンポジウム・講演等での発表として公表

した。また、本プロジェクト専用の HP を通じて、プロジェクトの進行や成果を随時公開した。ただし、当初予定していた研究資料の組織的分析、招へいや出版に関わる企画のいくつかは、コロナ禍のため年度内に終わることができなかった。

これを受けて、予算の一部をプロジェクトの 6 年目となる令和 3 年度に繰り越し、7 年目となる令和 4 年度に繰り越し(事故)を行って事業を継続した。この間にはボツワナ、ナミビア、カメルーンにおいて収集してきた本研究に関するデータを分析するとともに日本国内では本プロジェクトが主催して設けた「景観形成の自然誌コロキウム」を継続して行うなどして研究活動を進めた。「景観形成の自然誌コロキウム」は令和 2, 3 年度にそれぞれ 1 回、3 回開催した。これと並行して、令和 2, 3, 4 年度にそれぞれ 13 回、12 回、7 回の南部アフリカ地域研究会を行い、分析中の 1 次資料についての意見交換を行った。令和 2-4 年度はとくに「見ること」「歩くこと」「語ること」の関連に焦点を当て、組織的な分析を行った。さらに、これらの研究成果をまとめて、令和 4 年度には研究代表者が 2 冊の単著を出版するなどして公表した。これに加えて、本プロジェクトの成果は、研究業績にあげた学術雑誌論文や学術図書の出版、国内外での各種学会・シンポジウム・講演等での発表、および本プロジェクト専用の HP を通じて公開した。これらにより、本研究の目標として据えた課題は当初の計画どおりに終わることができた。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計90件（うち査読付論文 47件 / うち国際共著 18件 / うちオープンアクセス 43件）

1. 著者名 安藤寿康、明和政子、橋彌和秀、亀井伸孝、中尾 央、長谷川真理子、高田 明	4. 巻 58
2. 論文標題 教育の生物学的基盤：進化か文化か	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 教育心理学年報	6. 最初と最後の頁 284-290
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.5926/arepj.58.284	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 高田 明	4. 巻 -
2. 論文標題 子育ての自然誌：狩猟採集社会からの眼差し（二四）：子育ての危機再考	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 ミネルヴァ通信「究」	6. 最初と最後の頁 12-15
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高田 明	4. 巻 -
2. 論文標題 子育ての自然誌：狩猟採集社会からの眼差し（二三）：社会変容と社会化(1)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 ミネルヴァ通信「究」	6. 最初と最後の頁 12-15
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高田 明	4. 巻 -
2. 論文標題 子育ての自然誌：狩猟採集社会からの眼差し（二二）：遊びから仕事への移行	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 ミネルヴァ通信「究」	6. 最初と最後の頁 12-15
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高田 明	4. 巻 -
2. 論文標題 子育ての自然誌：狩猟採集社会からの眼差し（二一）：歌・踊り活動における参与枠組みと関与	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ミネルヴァ通信「究」	6. 最初と最後の頁 12-15
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高田 明	4. 巻 -
2. 論文標題 子育ての自然誌：狩猟採集社会からの眼差し（二〇）：集団活動における社会化	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ミネルヴァ通信「究」	6. 最初と最後の頁 12-15
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高田 明	4. 巻 -
2. 論文標題 子育ての自然誌：狩猟採集社会からの眼差し（十九）：「文化学習」再考	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ミネルヴァ通信「究」	6. 最初と最後の頁 12-15
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高田 明	4. 巻 -
2. 論文標題 子育ての自然誌：狩猟採集社会からの眼差し（十八）：第二次間主観性の成立と模倣	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ミネルヴァ通信「究」	6. 最初と最後の頁 12-15
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高田 明	4. 巻 -
2. 論文標題 子育ての自然誌: 狩猟採集社会からの眼差し(十七): 共に「話す」と「うたう」こと	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ミネルヴァ通信「究」	6. 最初と最後の頁 12-15
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高田 明	4. 巻 -
2. 論文標題 子育ての自然誌: 狩猟採集社会からの眼差し(十六): 共同注意の発達と初期音声コミュニケーション	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ミネルヴァ通信「究」	6. 最初と最後の頁 12-15
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高田 明	4. 巻 -
2. 論文標題 子育ての自然誌: 狩猟採集社会からの眼差し(十五): 生得的コンピテンスと周囲からの働きかけ	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ミネルヴァ通信「究」	6. 最初と最後の頁 12-15
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高田 明	4. 巻 -
2. 論文標題 子育ての自然誌: 狩猟採集社会からの眼差し(十四): 乳児の反射を利用した養育行動	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ミネルヴァ通信「究」	6. 最初と最後の頁 12-15
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 高田 明	4. 巻 -
2. 論文標題 子育ての自然誌: 狩猟採集社会からの眼差し(十三): 養育者-子ども間相互行為の発達	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ミネルヴァ通信「究」	6. 最初と最後の頁 12-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Wang, P. P., Hao, M., Han, W., & Yamauchi, T.	4. 巻 21
2. 論文標題 Factors associated with nutritional status and motor development among young children	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nursing & Health Sciences	6. 最初と最後の頁 323-329
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/nhs.12604	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hasegawa, J., Suzuki, H., & Yamauchi, T.	4. 巻 46
2. 論文標題 Effect of a lower limb strength training programme on physical activity during the snowy season among community-dwelling elderly individuals	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Annals of Human Biology	6. 最初と最後の頁 323-329
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/03014460.2019.1641222	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ushijima, K., Dicko, S., Yamauchi, T., & Funamizu, N.	4. 巻 3
2. 論文標題 Acceptability factors of agro-sanitation business model in light of time allocation: Case of rural households in Burkina Faso	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Sanitation Value Chain	6. 最初と最後の頁 25-39
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20568/00003123	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 佐藤香苗、鈴木みずえ、山内太郎	4. 巻 24
2. 論文標題 症高齢者の安静時エネルギー消費量 認知機能別の比較と推定	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本生理人類学会誌	6. 最初と最後の頁 149-158
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20718/jjpa.24.4_149	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sato, K., Sasaki, M., Nishimura, M., & Yamauchi, T.	4. 巻 46
2. 論文標題 Correlation between habitual dietary fibre intake and postprandial plasma glucose levels in early adulthood	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Annals of Human Biology	6. 最初と最後の頁 340-346
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/03014460.2019.1657949	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Cameron, N., Yamauchi, T., & Ohashi, J.	4. 巻 46
2. 論文標題 Human Biology of Japan	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Annals of Human Biology	6. 最初と最後の頁 285-286
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/03014460.2019.1671675	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 菅原和孝	4. 巻 10
2. 論文標題 南部アフリカ狩猟採集民グイ・ブッシュマンにおける 病 と 治療	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 N:ナラティブとケア	6. 最初と最後の頁 55-62
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大野仁美	4. 巻 18
2. 論文標題 グイ語における姿勢動詞の文法化	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 言語と文明	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 大野仁美、中川裕	4. 巻 23
2. 論文標題 グイ語資料: 「否定、形容詞と連体修飾複文」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 語学研究所論集	6. 最初と最後の頁 267-278
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Watanabe, Y., Itanna, F., Izumi, Y., Awala, S.K., Fujioka, Y., Tsuchiya, K., & Iijima M.	4. 巻 33
2. 論文標題 Cattle manure and intercropping effects on soil properties and growth and yield of pearl millet and cowpea in Namibia	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Crop Improvement	6. 最初と最後の頁 395-409
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/15427528.2019.1604456	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakagawa, H.	4. 巻 98
2. 論文標題 Linguistic and music ethnography of Kalahari Khoe	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Area and Culture Studies	6. 最初と最後の頁 191-202
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15026/93959	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Witzlack-Makarevich, A., & Nakagawa H.	4. 巻 -
2. 論文標題 Linguistic Features and Typologies in Languages Commonly Referred to as 'Khoisan'	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 The Cambridge Handbook of African Linguistics	6. 最初と最後の頁 382-416
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/9781108283991.012	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田中二郎	4. 巻 12
2. 論文標題 アフリカの狩猟採集民ブッシュマンの生活と社会 半世紀の記録	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 共生社会システム研究	6. 最初と最後の頁 1-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 園田浩司, 木村大治	4. 巻 -
2. 論文標題 バカ話話者にみられる発話の借用 「発話の権利」は普遍なのか	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 発話の権利	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 木村大治	4. 巻 -
2. 論文標題 アフリカ熱帯林の灰塩	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 くらしお・de・ワールド (web site) ¥url{https://www.shiotokurashi.com/world/africa/43934}	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 木村大治	4. 巻 47
2. 論文標題 宇宙人との出会い 『見知らぬものと出会う』刊行に寄せて	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 UP	6. 最初と最後の頁 7-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 菅原和孝	4. 巻 10
2. 論文標題 南部アフリカ狩猟採集民グイ・ブッシュマンにおける 病 と 治療	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 N: ナラティブとケア	6. 最初と最後の頁 55-62
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 菅原和孝	4. 巻 99
2. 論文標題 On the G ui Experiences of 'Being Hunted': Analysis of oral discourses on the man-killing by lions	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Senri Ethnological Studies	6. 最初と最後の頁 65-82
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 菅原和孝	4. 巻 24
2. 論文標題 境界を歩く犬たち-人類学と文学のあいだ	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 生態人類学会ニュースレター	6. 最初と最後の頁 8-12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Bajic, V., Barbieri, C., Hubner, A., Guldemann, T., Naumann, C., Gerlach, L., Berthold, F., Nakagawa, H., Mpoloka, S.W., Roewer, L., Purps, J., Stoneking, M., & Pakendorf, B.	4. 巻 167
2. 論文標題 Genetic structure and sex-biased gene flow in the history of southern African populations	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 American Journal of Physical Anthropology	6. 最初と最後の頁 656 ~ 671
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/ajpa.23694	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Guldemann, T., & Nakagawa, H.	4. 巻 24
2. 論文標題 Anthony Traill and the holistic approach to Kalahari Basin sound design	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Africana Linguistica	6. 最初と最後の頁 45-73
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2143/AL.24.0.3285491	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 高田 明、片岡 邦好、片桐 恭弘	4. 巻 21
2. 論文標題 20周年記念パネル・ディスカッション「相互行為エンジン仮説」の妥当性と未来 多分野からの検証と提言	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 社会言語科学	6. 最初と最後の頁 407 ~ 420
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.19024/jajls.21.1_407	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 高田 明	4. 巻 3
2. 論文標題 子育ての自然誌: 狩猟採集社会からの眼差し (十二): 日常的な相互行為への注目	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ミネルヴァ通信「究」	6. 最初と最後の頁 12-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高田 明	4. 巻 2
2. 論文標題 子育ての自然誌: 狩猟採集社会からの眼差し(十一): 心理学と人類学の方法論	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ミネルヴァ通信「究」	6. 最初と最後の頁 12-15
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高田 明	4. 巻 1
2. 論文標題 子育ての自然誌: 狩猟採集社会からの眼差し(十): アロ・マザリングへの注目	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ミネルヴァ通信「究」	6. 最初と最後の頁 12-15
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高田 明	4. 巻 12
2. 論文標題 子育ての自然誌: 狩猟採集社会からの眼差し(九): 母性神話の復権	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ミネルヴァ通信「究」	6. 最初と最後の頁 12-15
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高田 明	4. 巻 11
2. 論文標題 子育ての自然誌: 狩猟採集社会からの眼差し(八): 遊びを通じた成長	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ミネルヴァ通信「究」	6. 最初と最後の頁 12-15
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高田 明	4. 巻 10
2. 論文標題 子育ての自然誌: 狩猟採集社会からの眼差し(七): 自然に学ぶこと	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ミネルヴァ通信「究」	6. 最初と最後の頁 12-15
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高田 明	4. 巻 9
2. 論文標題 子育ての自然誌: 狩猟採集社会からの眼差し(六): ダーウィンとウォレスの進化論	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ミネルヴァ通信「究」	6. 最初と最後の頁 12-15
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高田 明	4. 巻 8
2. 論文標題 子育ての自然誌: 狩猟採集社会からの眼差し(五): ルソーの野望	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ミネルヴァ通信「究」	6. 最初と最後の頁 12-15
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高田 明	4. 巻 7
2. 論文標題 子育ての自然誌: 狩猟採集社会からの眼差し(四): リンネの自然観	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ミネルヴァ通信「究」	6. 最初と最後の頁 12-15
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 高田 明	4. 巻 6
2. 論文標題 子育ての自然誌: 狩猟採集社会からの眼差し(三): 京都の自然学	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ミネルヴァ通信「究」	6. 最初と最後の頁 12-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高田 明	4. 巻 5
2. 論文標題 子育ての自然誌: 狩猟採集社会からの眼差し(二): カラハリ砂漠のプッシュマン	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ミネルヴァ通信「究」	6. 最初と最後の頁 12-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高田 明	4. 巻 4
2. 論文標題 子育ての自然誌: 狩猟採集社会からの眼差し(一): 子育ての危機	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ミネルヴァ通信「究」	6. 最初と最後の頁 12-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fujioka, Y., Watanabe, Y., Mizuochi, H., Itanna, F., Ruben, S., & Iijima, M.	4. 巻 38
2. 論文標題 Classification of Small Seasonal Ponds Based on Soil-Water Environments in the Cuvelai Seasonal Wetland System, North-Central Namibia	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Wetlands	6. 最初と最後の頁 1045 ~ 1057
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s13157-018-1073-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 大野仁美	4. 巻 16
2. 論文標題 グイ語の語順とWh疑問文	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 言語と文明	6. 最初と最後の頁 97-105
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nyambe, S., Hayashi, K., Zulu, J., & Yamauchi, T.	4. 巻 2
2. 論文標題 Water, Sanitation, Hygiene, Health and Civic Participation of Children and Youth in Peri-Urban Communities: An Overview of Lusaka, Zambia, Field Research Report 2016	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Sanitation Value Chain	6. 最初と最後の頁 39-54
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Maruyama, J.	4. 巻 11
2. 論文標題 Keeping a Distance: 'Bushman Tourism' in Botswana	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Global-E	6. 最初と最後の頁 Issue 46
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Cornelissen, S., & Maruyama, J.	4. 巻 11
2. 論文標題 Tourism, Capital, and Livelihoods in Africa	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Global-E	6. 最初と最後の頁 Issue 34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Mizuochi, H., Hiyama, T., Ohta, T., Fujioka, Y., Jack, R., Kambatuku, Iijima, M., & Nasahara, K. N.	4. 巻 199
2. 論文標題 Development and evaluation of a lookup-table-based approach to data fusion for seasonal wetlands monitoring: An integrated use of AMSR series MODIS, and Landsat	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Remote Sensing of Environment	6. 最初と最後の頁 370-388
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.rse.2017.07.026	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Watanabe, Y., Itanna, F., Fujioka, Y., Ruben, S. & Iijima, M.	4. 巻 12(18)
2. 論文標題 Soil fertility status of seasonally closed wetland ecosystem (ondombe) in North-central Namibia	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 African Journal of Agricultural Study	6. 最初と最後の頁 1538-1546
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Sugawara, K.	4. 巻 61 (2)
2. 論文標題 A theory of 'animal borders': Thoughts and practices toward non-human animals among the G!ui hunter-gatherers	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Social Analysis	6. 最初と最後の頁 100-117
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 菅原和孝	4. 巻 9
2. 論文標題 障がい者が描くこと・生きること - 自閉症をもつ「ゆっくん」の絵画表現	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 N: ナラティブとケア	6. 最初と最後の頁 74-81
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中川裕 (編)	4. 巻 18
2. 論文標題 カラハリ狩猟採集民の言語民族誌的な辞書を編む	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 フィールドプラス (巻頭特集)	6. 最初と最後の頁 2-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中川裕	4. 巻 18
2. 論文標題 カラハリ狩猟採集民の語彙研究から言語の普遍性と多様性の理解へ	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 フィールドプラス	6. 最初と最後の頁 4-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中川裕	4. 巻 18
2. 論文標題 グイ・ガナ語の「食べる」と温度語彙	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 フィールドプラス	6. 最初と最後の頁 6-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakagawa, Hiroshi	4. 巻 test
2. 論文標題 Haba lexical tonology, Khoisan Languages and Linguistics	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Ruediger Koeppel Verlag	6. 最初と最後の頁 108-119
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takada, A.	4. 巻 54
2. 論文標題 Introduction to the supplementary issue "Reconstructing the paradigm of African Area Studies in a globalizing world"	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Special Issue: Reconstructing the paradigm of African Area Studies in a globalizing world, African Study Monographs, Supplementary Issue	6. 最初と最後の頁 3-12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takada, A.	4. 巻 54
2. 論文標題 The Kyoto School of ecological Anthropology: A source of African Area Studies at Kyoto University	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Special Issue: Reconstructing the paradigm of African Area Studies in a globalizing world, African Study Monographs, Supplementary Issue	6. 最初と最後の頁 41-55
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Morelli, G. A., Quinn, N., Chaudhary, N., Vicedo, M., Rosabal-Coto, M., Keller, H., Murray, M., Gottlieb, A., Scheidecker, G., & Takada, A.	4. 巻 49(1)
2. 論文標題 Ethical challenges of parenting interventions in low- to middle-income countries	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Cross-Cultural Psychology	6. 最初と最後の頁 5-24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/0022022117746241	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yamauchi, T., & Funamizu, N.	4. 巻 1(1)
2. 論文標題 Assessing the impact of improved sanitation on the health and happiness of a west African local population: Concepts and research methodology	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Sanitation Value Chain	6. 最初と最後の頁 63-70
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山内太郎	4. 巻 83(6)
2. 論文標題 子どもの身体に異変が起きている 世界の子どもの体格・体力の現状と時代変化	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 日本健康学会誌	6. 最初と最後の頁 174-183
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Issiki, M., Naka, I., Kimura, R., Furusawa, T., Natsuhara, K., Yamauchi, T., Nakazawa, M., Ishida, T., Ohtsuka, R., & Ohashi, J.	4. 巻 63(1)
2. 論文標題 Mitochondrial DNA variations in Austronesian-speaking populations living in the New Georgia Islands, the Western Province of the Solomon Islands	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Human Genetics	6. 最初と最後の頁 101-104
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hasegawa, J., Ito, Y. & Yamauchi, T.	4. 巻 10(1)
2. 論文標題 Development of a screening tool to predict malnutrition among children under two years old in Zambia	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Global Health Action	6. 最初と最後の頁 1339981
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Naka, I., Furusawa, T., Kimura, R., Natsuhara, K., Yamauchi, T., Nakazawa, M., Ataka, Y., Ishida, T., Inaoka, T., Matsumura, Y., Ohtsuka, R. & Ohashi, J.	4. 巻 62(9)
2. 論文標題 A missense variant, rs373863828-A (p.Arg457Gln), of CREBRF and body mass index in oceanic populations	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Human Genetics	6. 最初と最後の頁 847-849
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Furusawa, T., Naka, I., Yamauchi, T., Natsuhara, K., Eddie, R., & Kimura, R. et al.	4. 巻 12(3)
2. 論文標題 Polymorphisms associated with a tropical climate and root crop diet induce susceptibility to metabolic and cardiovascular diseases in Solomon Islands	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 PLoS ONE	6. 最初と最後の頁 e0172676
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Nagahori, C., Kinjo, Y., Tchuani, J. P., & Yamauchi, T.	4. 巻 18(6)
2. 論文標題 Malnutrition among vaccinated children aged 0-5 years in Batouri, Republic of Cameroon: Convenience samples from five health centers and two villages in the health district of Batouri	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of General and Family Medicine	6. 最初と最後の頁 365-371
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 大野仁美	4. 巻 test
2. 論文標題 焦点表示と焦点関連構文：グイ語の場合	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 日本言語学会第155回大会発表予稿集	6. 最初と最後の頁 53-56
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 大野仁美	4. 巻 18
2. 論文標題 オバサンの子もなのに自分のキョウダイ？グイ語の親族名称体系	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 フィールドプラス	6. 最初と最後の頁 8-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 丸山淳子	4. 巻 92
2. 論文標題 ボツワナ中西部における「ブッシュマン観光」の成立と展開：観光と地域の社会関係のダイナミズム	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 アフリカ研究	6. 最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 丸山淳子, 目黒紀夫	4. 巻 92
2. 論文標題 アフリカにおける「住民参加型観光」の再検討 地域社会の視点から	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 アフリカ研究	6. 最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Maruyama, J.	4. 巻 54
2. 論文標題 From “Displaced Peoples” to “Indigenous Peoples”: Experiences of the !Xun and Khwe San in South Africa	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Special Issue: Reconstructing the paradigm of African Area Studies in a globalizing world, African Study Monographs, Supplementary Issue	6. 最初と最後の頁 137-154
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takada, A.	4. 巻 52
2. 論文標題 Introduction to the supplementary issue “Natural history of communication among the Central Kalahari San”	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 African Study Monographs, Supplementary Issue	6. 最初と最後の頁 5-25
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14989/207697	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -



1. 著者名 Takada, A.	4. 巻 52
2. 論文標題 Employing ecological knowledge during foraging activity: Perception of the landform among the G ui and G lana	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 African Study Monographs, Supplementary Issue	6. 最初と最後の頁 147-170
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14989/207689	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 木村大治	4. 巻 2016年5月号
2. 論文標題 恥ずかしさの起源と進化	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 現代思想 2016年5月号 特集 人類の起源と進化: プレ・ヒューマンへの想像力	6. 最初と最後の頁 198-211
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中川 裕	4. 巻 第20号
2. 論文標題 世界の色彩語の類型と進化: “ブッシュマン”の言語の調査がもたらす新知見	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 総合文化研究	6. 最初と最後の頁 88-89
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 中川 裕	4. 巻 92号
2. 論文標題 グイ・ガナ言語民族誌的辞書の編纂: 速報	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 東京外国語大学論集	6. 最初と最後の頁 293-304
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakagawa, H.	4. 巻 52
2. 論文標題 The aspect system in G ui: with special reference to postural features	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 African Study Monographs, Supplementary Issue	6. 最初と最後の頁 119-134
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14989/207691.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nagahori, C., Kinjo, Y., Tchuani, J. P., & Yamauchi, T.	4. 巻 印刷中
2. 論文標題 Malnutrition among vaccinated children aged 0-5 years in Batouri, Republic of Cameroon: Convenience samples from five health centers and two villages in the health district of Batouri	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of General and Family Medicine	6. 最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Teshirogi, K., Yamashina, C., & Fujioka, Y.	4. 巻 38(1)
2. 論文標題 Variations in mopane vegetation and its use by local people: Comparison of four sites in northern Namibia	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 African Study Monographs	6. 最初と最後の頁 5-25
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fujioka, Y.	4. 巻 38(1)
2. 論文標題 Introduction to the special topic "plant uses, livelihoods, and sustainability in Africa"	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 African Study Monographs	6. 最初と最後の頁 1-3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hiyama, T., Kanamori, H., Kambatuku, J., Kotani, A., Asai, K., Mizuochi, H., Fujioka, Y., & Iijima, M.	4. 巻 12
2. 論文標題 Analysing the origin of rain and subsurface water in seasonal wetlands of north-central Namibia	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Environmental Research Letters	6. 最初と最後の頁 34012
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Watanabe, Y., Itanna, F., Fujioka, Y., Petrus, A., & Iijima, M.	4. 巻 11(46)
2. 論文標題 Characteristics of soils under seasonally wetlands (oshanas) in north-central Namibia	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 African Journal of Agricultural Study	6. 最初と最後の頁 4786-4795
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Awala, S. K., Yamane, K., Izumi, Y., Fujioka, Y., Watanabe, Y., Kaede C. W., Kawato, Y., Mwandemele, O. D., & Iijima, M.	4. 巻 80
2. 論文標題 Field evaluation of mixed-seedlings with rice to alleviate flood stress for semi-arid cereals	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 European Journal of Agronomy	6. 最初と最後の頁 105-112
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Nishikawa, Y., ShivoIo, O., Angula, M., Thomas, B., Hangula, M., Maharero, T., & Fujioka, Y.	4. 巻 56(1)
2. 論文標題 Village monograph of an agro-pastoral society in north-central Namibia	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Journal of Ryukoku Economics	6. 最初と最後の頁 13-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 水落裕樹, 檜山哲哉, 金森大成, 太田岳史, 藤岡悠一郎, 飯嶋盛雄, 奈佐原顕郎	4. 巻 36(2)
2. 論文標題 長期衛星観測データとUAV地形測量を組み合わせた半乾燥地の季節湿地における貯水量モニタリング	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 日本リモートセンシング学会誌	6. 最初と最後の頁 81-92
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Iijima, M., Awalaa, S. K., Watanabe, Y., Kawato, Y., Fujioka, Y., Yamane, K., & Wada, K.	4. 巻 192
2. 論文標題 Mixed cropping has the potential to enhance flood tolerance of drought-adapted grain crops	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Journal of Plant Physiology	6. 最初と最後の頁 21-25
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

〔学会発表〕 計201件 (うち招待講演 63件 / うち国際学会 59件)

1. 発表者名 高田 明
2. 発表標題 発達研究における4つのレベルと日誌法：サンにおけるジムナスティックの再考。自主シンポジウム：フィールド研究における日誌法の意義
3. 学会等名 日本発達心理学会第31回大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 高田 明
2. 発表標題 人のコミュニケーションとQoL
3. 学会等名 日立京大ラボシンポジウム：生物の社会性に学ぶQoLの向上をめざした社会システムの可能性 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Takada, A.
2. 発表標題 Ethnicity and land rights among the !Xun of north-central Namibia
3. 学会等名 African Studies and the Land Questions in Africa (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高田 明
2. 発表標題 オーガナイザー
3. 学会等名 第10回景観形成の自然誌コロキウム：狩猟採集民をめぐる会話の人類学
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高田 明
2. 発表標題 人類学から考える子守唄と遊戯的な歌：南部アフリカのサンにおける養育者-子ども間相互行為の事例から。プレコングレス「子守唄を歌うのは誰 寝かすことと寝ること」
3. 学会等名 日本赤ちゃん学会第19回学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高田 明
2. 発表標題 オーガナイザー
3. 学会等名 第9回景観形成の自然誌コロキウム
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Leepile, T. T., Jovel, E., Karakochuk, C. D., Black, J. L., & Takada, A.
2. 発表標題 Understanding food security and food sovereignty among the San in New Xade
3. 学会等名 World Public Health Nutrition Association Congress 2020 (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Takada, A.
2. 発表標題 Caregiver's vocal and embodied responses to infant crying among the !Xun of north-central Namibia
3. 学会等名 16th International Pragmatics Conference (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高田 明
2. 発表標題 環境に連結したジェスチャーと指示詞：グイノガナの道探索実践の事例から
3. 学会等名 日本文化人類学会第53回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 三宅栄里花、高田 明
2. 発表標題 ナミビア北中部におけるサンとオバンボの土地利用をめぐる関係
3. 学会等名 日本アフリカ学会第56回学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takada, A.
2. 発表標題 Cultural diversity and universality in infant-caregiver interaction: Evidences from the San of southern Africa
3. 学会等名 2019 SPA Biennial (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山内太郎、中尾世治、鍋島孝子、伊藤竜生、清水貴夫、ニャンベシコボ
2. 発表標題 「サハラ以南アフリカにおけるサニテーション研究の現状と課題」報告
3. 学会等名 第55回日本アフリカ学会学術大会・フォーラム
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 三船凜、Luc Mebenga Tamba、山内太郎
2. 発表標題 狩猟採集民のサニテーション：トイレ施設の有無と女性の月経
3. 学会等名 日本アフリカ学会第56回学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Nyambe, S., Zulu, J., & Yamauchi, T.
2. 発表標題 Socio-Demographic Factors Determining Household Water, Sanitation and Hygiene in Peri-urban Lusaka, Zambia
3. 学会等名 56th Annual Conference of the Japan Association for African Studies
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山内太郎、林耕次
2. 発表標題 フォーラム：サハラ以南アフリカにおけるサニテーションの未来をデザインする
3. 学会等名 日本アフリカ学会第56回学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 林耕次、中尾世治、山内太郎
2. 発表標題 定住した狩猟採集民にみるサニテーションの現状と変容
3. 学会等名 日本アフリカ学会第56回学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yamauchi, T.
2. 発表標題 Sanitation and Health: Sanitation Value Chain
3. 学会等名 Future Earth Health Knowledge-Action Network Symposium (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yamauchi, T.
2. 発表標題 Developing the Sanitation Value Chain: Co-designing future sanitation systems through community-based participation research
3. 学会等名 8th Zambia Water Forum and Exhibition (ZAWAFE 2019) (国際学会)
4. 発表年 2019年



1 . 発表者名 Nyambe, S., Kataoka, Y., & Yamauchi, T.
2 . 発表標題 The Use of Social Networking Systems for Visualise on in Water, Sanitation and Hygiene
3 . 学会等名 8th Zambia Water Forum and Exhibition (ZAWAFE 2019) ( 国際学会 )
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Shinokawa, S., Sato, K., & Yamauchi, T.
2 . 発表標題 Factors improving the subjective health perceptions of female nursing students
3 . 学会等名 The 4th FHS International Conference ( 国際学会 )
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Nyambe, S., Zulu, J., & Yamauchi, T.
2 . 発表標題 Local children ' s art-based research on peri-urban water, sanitation and hygiene in Lusaka, Zambia
3 . 学会等名 4th Faculty of Health Science International Conference ( 国際学会 )
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Mifune, R., & Yamauchi, T.
2 . 発表標題 Rural Sanitation in Cameroon: Comparison between Hunter-gathers, Farmers and Merchants
3 . 学会等名 4th Faculty of Health Science International Conference ( 国際学会 )
4 . 発表年 2019年

1. 発表者名 Kodama, Y., Taneda, K., Oshita, H., Shima, Y., Mani, H., & Asaka, T.
2. 発表標題 Effects of Stepping Reaction by Planter Stimulation with Textured Surface
3. 学会等名 4th Faculty of Health Science International Conference (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Sato K., Shinokawa S., & Yamauchi T.
2. 発表標題 Body Image in Female College Students: Misperception and Relationship between Desire for Thinness, and Eating Habits and Lifestyle
3. 学会等名 4th Faculty of Health Science International Conference (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hasegawa, J., & Yamauchi, T.
2. 発表標題 Relationship between self-rated health, life satisfaction and exercise satisfaction and frailty
3. 学会等名 4th Faculty of Health Science International Conference (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 菅原和孝
2. 発表標題 無文字社会におけるできごとを今ここに現成する:グイ・ブッシュマンの語り手 / 調査助手および調査者間の三者交働
3. 学会等名 第10回景観形成の自然誌コロキアム
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大野仁美
2. 発表標題 グイ語のコピュラ文
3. 学会等名 日本アフリカ学第56回学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 藤岡悠一郎
2. 発表標題 ナミビア北中部における果樹の分布と農牧民の居住の歴史
3. 学会等名 日本アフリカ学会第56回学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Fujioka, Y.
2. 発表標題 Co-producing of New Knowledge. Session: Science meets Society
3. 学会等名 Arctic Circle (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 飯田義彦、手代木功基、藤岡悠一郎
2. 発表標題 石川県白山麓におけるトチノキ巨木の分布と生育地の景観タイプ
3. 学会等名 日本地理学会秋季学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kimura, D.
2. 発表標題 Changes in transportation network and subsistence activities among the Bongando in Tshuapa Province, DR Congo
3. 学会等名 Conference - Debat "Recherches sur le site de Djolu dans la Province de la Tshuapa (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Nakagawa, H., Idemann, T., Lionnet, F., & Witzlack-Makarevich, A.
2. 発表標題 Khoisan phonological typology database and the relative frequencies of consonants in the Khoisan languages
3. 学会等名 13th Conference of the Association for Linguistic Typology (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Nakagawa, H.
2. 発表標題 History of tonal interaction across paradigms: new findings from Khoisan tonology
3. 学会等名 International Conference on Historical Linguistics (ICHL24) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中川 裕
2. 発表標題 カラハリ狩猟採集民の言語におけるユニークな音象徴
3. 学会等名 日本アフリカ学会第56回学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 田中二郎
2. 発表標題 アフリカの狩猟採集民ブッシュマンの生活と社会 半世紀の記録
3. 学会等名 共生社会システム学会大会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kimura, D.
2. 発表標題 Everyday social interactions of hunter-gatherers: Progresses and prospects
3. 学会等名 12th International Conference on Hunting and Gathering Societies (CHaGS12) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kimura, D.
2. 発表標題 Changes in distribution systems and subsistence activities among the Bongando in Tshuapa Province, DR Congo
3. 学会等名 Congoese Studies: Past, Present, Future
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 木村大治
2. 発表標題 村と都市をつなぐ：流通を回復する人びとの創意
3. 学会等名 アフリカセンター公開講座
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 菅原和孝
2. 発表標題 動物と感応する身体-南部アフリカ狩猟採集民グイの場合
3. 学会等名 第50回中四国人類学談話会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中川 裕
2. 発表標題 くちあたりの音象徴の言語相対性と普遍性：コイサン事例研究
3. 学会等名 『外国語と日本語との対照言語学的研究』第25回研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中川 裕
2. 発表標題 声調交替のパラディグマティックな説明：グイ語における2つの畳語パラダイムの相互作用音韻史
3. 学会等名 日本言語学会第156回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中川 裕
2. 発表標題 カラハリ狩猟採集民の言語における飲食動詞の類型論的特徴
3. 学会等名 日本アフリカ学会第55回学術大会
4. 発表年 2018年

1 . 発表者名 Nakagawa, H.
2 . 発表標題 Click acquisition in G ui
3 . 学会等名 The 9th World Congress of African Linguistics ( 国際学会 )
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Takada, A. & Sugiyama, Y.
2 . 発表標題 Re-establishing a good life: Abnormal delivery, rehabilitation treatments, and funerals among the G ui and G  ana of Botswana
3 . 学会等名 The Social Anthropology Seminar Series ( 招待講演 )
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Takada, A.
2 . 発表標題 Touching, soothing, and amusing infants among the !Xun of north-central Namibia
3 . 学会等名 The Department of Psychology ( 招待講演 ) ( 国際学会 )
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Takada, A.
2 . 発表標題 Discussant of Session 3: Conviviality & African Potentials. 3rd Kyoto Symposium
3 . 学会等名 African Potentials 2019: International Symposium on African Potentials and the Future of Humanity ( 国際学会 )
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Takada, A.
2 . 発表標題 Touching and amusing infants among the !Xun of north-central Namibia
3 . 学会等名 The Anthropology of Senses Seminar Series (招待講演)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Takada, A.
2 . 発表標題 Folk knowledge and wayfinding practices among the San of the Central Kalahari
3 . 学会等名 Kyoto-EHESS International Symposium 2019: Contribution of Area Studies to Global Challenges in Africa (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Takada, A.
2 . 発表標題 Introduction to "Localization of Humanitarian Assistance Frameworks for East African Pastoralists" (African Study Monographs, Supplementary Issue, 53) edited by Shinya Konaka & Xiaogang Sun
3 . 学会等名 Kyoto-EHESS International Symposium 2019: Contribution of Area Studies to Global Challenges in Africa (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Takada, A.
2 . 発表標題 How the !Xun soothe and amuse infants?
3 . 学会等名 The Research Workshop "Musilanguage in the cradle of different cultures" (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2018年



1. 発表者名 Takada, A.
2. 発表標題 Musicality of infant directed communication among the San of southern Africa
3. 学会等名 The Research Workshop "Musilanguage in the cradle of different cultures" (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takada, A.
2. 発表標題 Environmental perception and wayfinding practices among the San of the Central Kalahari
3. 学会等名 The Social Anthropology Seminar Series (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高田 明
2. 発表標題 教育・学習の基盤：進化と文化
3. 学会等名 準備委員会企画シンポジウム5：教育の生物学的基盤：進化か文化か。日本教育心理学会第60回総会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高田 明
2. 発表標題 オーガナイザー
3. 学会等名 第8回景観形成の自然誌コロキウム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高田 明
2. 発表標題 オーガナイザー
3. 学会等名 第7回景観形成の自然誌コロキウム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takada, A.
2. 発表標題 Crying, caregiving and embodied organization of emotion socialization: A tribute to the lifework of M. H. Goodwin
3. 学会等名 The 117th Annual meeting of American Anthropological Association (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takada, A.
2. 発表標題 Play-to-work transition among the !Xun of north-central Namibia. Paper presented at the panel "Reconsidering play-to-work transition in (post-)hunter-gatherer communities", at the 12th Conference on Hunting and Gathering Societies
3. 学会等名 CHAGS XII (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takada, A.
2. 発表標題 Features of the participation framework in play and work activities among the !Xun of north-central Namibia. Film presented at the interactive activities "Movies from the field: Play-to-work transitions in (post-)hunter-gatherer communities", at the 12th Conference on Hunting and Gathering Societies
3. 学会等名 CHAGS XII (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takada, A. & Shimada, M.
2. 発表標題 Movies from the field: Play-to-work transitions in (post-)hunter-gatherer communities, Interactive activities at the 12th Conference on Hunting and Gathering Societies (organizer)
3. 学会等名 CHAGS XII (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高田 明
2. 発表標題 On the “ Interaction Engine Hypothesis ” : Commentaries from Linguistic Anthropological Perspective
3. 学会等名 20周年記念パネルディスカッション. 社会言語科学会第41回大会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高田 明
2. 発表標題 「つなぐ」第4回: 子育てを通じた世代間のつながり
3. 学会等名 アフリカ地域研究資料センター 公開講座「アフリカから学ぶこと」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 藤岡悠一郎
2. 発表標題 南アフリカにおけるマルーラの商品化と資源利用
3. 学会等名 日本アフリカ学会第55回学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Fujioka, Y.
2. 発表標題 Formation of Anthropogenic Biomes and Sociocultural Changes
3. 学会等名 JGFoS (14th Japanese-German Frontier of Science Symposium, JSPS) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Fujioka, Y., & Shoji, G.
2. 発表標題 Responses to Food Shortage & Resilience after Flood & Drought Disasters in Agro-Pastoral Society of North-central Namibia
3. 学会等名 WSSF (World Social Science Forum) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ono, H.
2. 発表標題 Is ki a focus marker in G ui?
3. 学会等名 Seminar, Department of African Language and Literature
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ono, H.
2. 発表標題 Focus marking and identification in G ui.
3. 学会等名 WOCAL 9 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 大野仁美
2. 発表標題 カラハリ・コエ語派における姿勢動詞の文法化
3. 学会等名 日本アフリカ学会大55回学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Nyambe, S., Hayashi, K., Zulu, J., & Yamauchi, T.
2. 発表標題 The image of peri-urban sanitation and health through the eyes of the young: Understanding community sanitation and health in Lusaka, Zambia
3. 学会等名 Dry Toilet Conference
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山内太郎
2. 発表標題 人類生態学フィールドワーク入門：人々の暮らしと健康
3. 学会等名 第4回サニテーションセミナー
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Nyambe, S., Hayashi, K., Zulu, J., & Yamauchi T.
2. 発表標題 Dziko Langa Kilo! A health living, I see you!: Incorporating children and youth in peri-urban sanitation and health in Lusaka
3. 学会等名 Zambia Water Forum and Exhibition (ZAWAFE)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yamauchi, T.
2. 発表標題 Co-creating the sanitation value chain in Lusaka, Zambia by designing sanitation systems
3. 学会等名 Zambia Water Forum and Exhibition (ZAWAFE)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 林耕次, 中尾世治, 山内太郎
2. 発表標題 狩猟採集民の排泄行動 カメルーン, バカ・ビグミーの個体追跡による時間・空間分析から
3. 学会等名 第55回日本アフリカ学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 萩野泉, 山内太郎
2. 発表標題 中央アフリカ熱帯雨林狩猟採集民Bakaの子ども食物獲得: 16日間の狩猟キャンプ観察
3. 学会等名 第55回日本アフリカ学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山内太郎, 中尾世治
2. 発表標題 サハラ以南アフリカにおけるサニテーション研究の現状と課題
3. 学会等名 第55回日本アフリカ学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 長谷川純子, 山内太郎
2. 発表標題 ザンビア共和国における2歳未満児の低栄養状態スクリーニング方法の開発
3. 学会等名 第55回日本アフリカ学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Nyambe S., Zulu J., Hayashi K., & Yamauchi T.
2. 発表標題 Using photographs to tell the story of sanitation and health in peri-urban Lusaka, Zambia
3. 学会等名 55th Annual Conference for Japan Association of African Studies
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 丸山淳子
2. 発表標題 いま、なぜ「先住民」か
3. 学会等名 『先住民からみる現代世界』出版記念ワークショップ
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 丸山淳子
2. 発表標題 観光はアフリカを救うのか? : 南部アフリカにおける民族文化観光の最前線
3. 学会等名 立教大学観光学部主催アカデミックアドバイザー企画講演会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 丸山淳子
2. 発表標題 分けあうことは疲れる、分けあわないことも疲れる 現代の狩猟採集社会から考えるシェアリング
3. 学会等名 日本文化人類学会主催公開シンポジウム「現在・未来の経済社会に向けた人類学的知の再構築 ブロックチェーンからシェアリング経済まで」(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 丸山淳子
2. 発表標題 「自然保護」が生み出す格差：ボツワナにおけるサンの土地問題
3. 学会等名 研究会「自然保護という名の土地収奪」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 木村大治，松浦直毅
2. 発表標題 趣旨説明，ワンバ地域の経時的変化
3. 学会等名 第54回日本アフリカ学会学術大会（フォーラム：コンゴ民主共和国における紛争後の農村変容 1）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 木村大治
2. 発表標題 出会いと挨拶の相互行為論
3. 学会等名 人工知能学会SLUD（言語・音声理解と対話処理）研究会（招待講演）
4. 発表年 2017年



1. 発表者名 田中二郎
2. 発表標題 アフリカ狩猟採集民ブッシュマンの生活と社会（基調講演）
3. 学会等名 共生社会システム学会研究大会シンポジウム「共生社会と持続可能性」（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 田中二郎
2. 発表標題 ブッシュマン研究 - 半世紀の記録から -
3. 学会等名 シンポジウム「アフリカ文化探検の50年から未来を展望する～今、世界が学べること」
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 渡邊芳倫, 藤岡悠一郎, 飯嶋盛雄
2. 発表標題 ナミビア北中部、農耕地と季節性小湿地土壌における微量必須元素及びバイオウの分布特性
3. 学会等名 2017年度日本土壌肥料学会関西支部講演会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 藤岡悠一郎
2. 発表標題 南アフリカにおける非木材林産物の商品化と資源管理 企業と協同組合によるマルーラ製品の販売
3. 学会等名 日本地理学会2018年春季学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中川裕, 宇野園子
2. 発表標題 コイサン諸語における器質性構音障害の症例：軽度舌小帯短縮症のグイ語話者によるクリック子音音素の発音
3. 学会等名 日本言語学会第155回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中川裕
2. 発表標題 クリック子音体系の言語獲得：グイ語事例研究
3. 学会等名 日本言語学会第154回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中川裕
2. 発表標題 コイサン3語族を横断する音韻特徴：遺伝子的距離との関係
3. 学会等名 日本アフリカ学会第54回学術大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中川裕
2. 発表標題 ブッシュマンの道具を言語学的に見る
3. 学会等名 FIELDPLUSトークイベント「砂漠の狩人の半世紀：ブッシュマンの伝統と変容」
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 高田 明
2. 発表標題 イントロダクション
3. 学会等名 第6回景観形成の自然誌コロキウム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高田 明
2. 発表標題 養育者 - 子ども間相互行為研究への人類学的アプローチ：ナミビア北中部のクン・サンにおける睡眠，授乳，ジムナスティックの分析から
3. 学会等名 子どものこころの分子統御機構研究センター平成29年度連続セミナー第4回（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高田 明
2. 発表標題 イントロダクション
3. 学会等名 第9回アフリカ地域研究パラダイム再編セミナー
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takada, A.
2. 発表標題 Introduction to Voices for the Future: African Area Studies in a globalizing world
3. 学会等名 The international symposium "France-Japan Area Studies Forum" (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takada, A.
2. 発表標題 The medium of instruction in North-central Namibia in colonial times
3. 学会等名 7th African Forum: Grahamstown: 'African potentials' to develop alternative methods of addressing global issues
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 高田 明
2. 発表標題 文化を再生産する：ブッシュマンとフィールドワーカーの現場で何が起きているか
3. 学会等名 トーク・イベント「アフリカ文化探検の50年から未来を展望する：今、世界が学べること」
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 高田 明
2. 発表標題 言語人類学，エスノメソドロジー，会話分析 - コミュニケーションの民族誌から相互行為の人類学へ -
3. 学会等名 テーマセッション「エスノメソドロジーと会話分析の半世紀」
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 高田 明
2. 発表標題 子育ての自然誌：ナミビア北中部のクン・サン（ブッシュマン）の事例から
3. 学会等名 大同生命地域研究賞第11回ミニフォーラム（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 高田 明
2. 発表標題 イントロダクション
3. 学会等名 第8回アフリカ地域研究パラダイム再編セミナー
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 高田 明
2. 発表標題 子育ての自然誌：ナミビア北中部のクンにおける養育者 - 子ども間相互行為の事例から
3. 学会等名 第106回日本小児科学会山形地方会 特別講演（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takada, A. & Sugiyama, Y.
2. 発表標題 The quest to re-establish a good life: Practices associated with the rituals of abnormal delivery and funerals among the G ui and G jana of Botswana
3. 学会等名 The 2017 Satterthwaite Colloquium on African Ritual and Religion: The moral imagination（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 高田 明
2. 発表標題 音楽の起源再考：サンにおける乳児向け発話の事例分析から
3. 学会等名 ラウンドテーブル3「ヒトの音楽性に迫る：その起源と発達についての多角的検討」日本赤ちゃん学会第17回学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takada, A.
2. 発表標題 Language socialization among the San: Reconsidering infant directed speech
3. 学会等名 "Language Socialisation in trilingual communities in Africa and beyond: Brainstorming Workshop" (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takada, A. (together with F., Widlok, T., Krause, F., Ventsel, A., Gray, P., Drazkiewicz, E., & Wemheueny)
2. 発表標題 Panel discussant of Roundtable 1: De-centering Europe: Not only from the South but also from the East and from the North
3. 学会等名 The GSSC conference "The Global South on the Move: Transforming Capitalism, knowledge and ecologies" (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 高田 明
2. 発表標題 ナミビア北中部における景観の変遷：クンとオバンボのコンタクトゾーンにおける地域史再考
3. 学会等名 日本文化人類学会第51回研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 高田 明
2. 発表標題 植民地期の南西アフリカ（現ナミビア）北中部における教育媒介言語
3. 学会等名 日本アフリカ学会第54回学術大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takada, A.
2. 発表標題 Reconsidering regional structural comparison
3. 学会等名 The 6th Riezlern Symposium (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takada, A.
2. 発表標題 Environmental perception and wayfinding practices in the Central Kalahari
3. 学会等名 The "Evolutionary Anthropology" seminar (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takada, A.
2. 発表標題 Participation in rhythm: !Xun socialization through singing and dancing activities
3. 学会等名 Seminaire special du CLLE-LTC (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takada, A.
2. 発表標題 Kyoto School of Ecological Anthropology
3. 学会等名 The course of Atelier ouvert des Cahiers d'Etudes Africaines (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takada, A.
2. 発表標題 Panelist of conversation hour, "Fieldwork and Family"
3. 学会等名 The 46th annual meeting of the Society for Cross-Cultural Research (SCCR) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takada, A.
2. 発表標題 Practices of early cultural learning: Responsibility formation in caregiver-infant interaction among the G ui/G  ana of Botswana
3. 学会等名 the seminar of Laboratoire Ethologie, Cognition, Developpement (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takada, A.
2. 発表標題 The cultural and ecological foundations of ethnicity among the !Xun of North-central Namibia
3. 学会等名 The seminar of Comprendre les relations Afrique-Asie: espace transversal de recherches et d'enseignement (CRAA-ETRE) (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takada, A.
2. 発表標題 Participation in rhythm: Peer group interactions among the !Xun San of Namibia
3. 学会等名 Tema Barn Higher seminar spring 2017 (招待講演)
4. 発表年 2017年



1. 発表者名 Yamauchi, T.
2. 発表標題 Indigenous health focusing on northern populations and the Sami
3. 学会等名 Hokkaido-Umea Seminar (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Nyambe, S., Hayashi, K., Zulu, J., & Yamauchi, T.
2. 発表標題 The child and youth perspective on sanitation, health and community participation in urban slums: Baseline findings in Lusaka, Zambia
3. 学会等名 Japan Association of International Health Conference (JAIH)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Agestika, L., Otsuka, Y., Sintawardani, N., Widyarani, & Yamauchi, T.
2. 発表標題 Association of elementary school student handwashing practices with child nutritional status, morbidity and school performance in the urban slum of Bandung, Indonesia
3. 学会等名 Japan Association of International Health Conference (JAIH)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 長谷川純子, 鈴木英樹, 山内太郎
2. 発表標題 地域在住高齢者の身体活動量と体組成および身体機能の関係
3. 学会等名 日本生理人類学会第76回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 (赤にこざと偏)明, 韓威, 山内太郎
2. 発表標題 中国東北部農村に暮らす肥満小学生の肥満改善: 縄とびと食育による2か月間の介入と1年後のフォローアップ
3. 学会等名 第82回日本健康学会総会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 王佩佩, (赤にこざと偏)明, 韓威, 山内太郎
2. 発表標題 中国東北部都市郊外に居住する幼児の栄養状態・粗大運動発達状況とその影響要因
3. 学会等名 第82回日本健康学会総会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 大塚裕美子, Lina, A., 原田英典, Widyarani, Sintawardani, N., & 山内太郎
2. 発表標題 インドネシア都市スラムにおける子どもの健康・栄養状態と衛生意識・行動の評価
3. 学会等名 第82回日本健康学会総会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yamauchi, T.
2. 発表標題 Trends in childhood obesity and decreased physical fitness among Japanese children: Intergenerational changes and mitigative-preventive measures
3. 学会等名 The 14th International Congress of Auxology (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山内太郎
2. 発表標題 日常をハカル：時空間利用と身体活動への展望．主題講演
3. 学会等名 日本食生活学会第55回大会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ikemi, M., Ushijima, K., Otsuka, Y., Yamauchi, T., Nilawati, D., Wulan, D. & Sintawardani, N.
2. 発表標題 Economic situation of value chain actors in urban slums of Bandung: A case study of Kiaracandong
3. 学会等名 International Symposium on Green Technology for Value Chains 2017（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hayashi, K., Nakao, S., & Yamauchi, T.
2. 発表標題 Sanitation activities among the Baka hunter-gatherers in Cameroon: From individual observations at the forest camp and the settlement
3. 学会等名 International Symposium on Green Technology for Value Chains 2017（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Otsuka, Y., Agestika, L., Harada, H., Widyarani, Sintawardani, N., & Yamauchi, T.
2. 発表標題 Assessing child health, nutritional status and hand hygiene in an urban slum of West Java, Indonesia
3. 学会等名 International Symposium on Green Technology for Value Chains 2017（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山内太郎
2. 発表標題 子どもの身体に異変が起きている 世界の子どもの体格・体力の現状と時代変化
3. 学会等名 日本人類学会講演会(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yamauchi, T.
2. 発表標題 Children living in the era of obesity and low physical fitness: Intergenerational changes in Japanese children
3. 学会等名 Special Lecture at School of Public Health(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hao, M., Han, W., & Yamauchi, T.
2. 発表標題 Short - and long-term beneficial effects of exercise intervention and nutrition education among overweight school children in Northeast China
3. 学会等名 Symposium of the Society for the Study of Human Biology & International Association of Physiological Anthropology(国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yamauchi, T., Nyambe, S., Agestika, L., & Otsuka, Y.
2. 発表標題 Sanitation innovation created and promoted by children and local communities
3. 学会等名 Indonesia & Philippine & Japan Joint International Seminar on Water and Sanitation(国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Agestika, L., & Yamauchi, T.
2. 発表標題 Challenge in Implementing nutrition education and sanitation programs in elementary school
3. 学会等名 The third FHS International Conference (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yabugishi, S., Hao, M., Wang, P., Otsuka, Y. & Yamauchi, T.
2. 発表標題 Factors contributing to anxiety status in female nursing students
3. 学会等名 The third FHS International Conference (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Nyambe, S., Hayashi, K., Zulu, J. & Yamauchi, T.
2. 発表標題 Preliminary findings of a basic sanitation and health assessment in peri-urban Lusaka, Zambia
3. 学会等名 The third FHS International Conference (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Miki, T. & Yamauchi, T.
2. 発表標題 Using questionnaire to evaluate biopsychological factors of low back pain in physical therapy
3. 学会等名 The third FHS International Conference (国際学会)
4. 発表年 2017年

1 . 発表者名 Wang, P., Hao, M., Han, W. & Yamauchi, T.
2 . 発表標題 Physical growth and development and affecting factors of children in suburban area of Northeastern China
3 . 学会等名 The third FHS International Conference ( 国際学会 )
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Hao, M., Han, W. & Yamauchi, T.
2 . 発表標題 Effect of short and long-term nutrition education and exercise intervention among overweight primary school children in Northeast China
3 . 学会等名 The third FHS International Conference ( 国際学会 )
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Otsuka, Y., Ushijima, K., Ikemi, M., Neni, S. & Yamauchi, T.
2 . 発表標題 Mapping of water, sanitation, hygiene, and child health in urban slums of Indonesia
3 . 学会等名 The third FHS International Conference ( 国際学会 )
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Hasegawa, J., Ito, M. & Yamauchi, T.
2 . 発表標題 Development of a screening to predict malnutrition among children under two years old in Zambia
3 . 学会等名 The third FHS International Conference ( 国際学会 )
4 . 発表年 2017年

1. 発表者名 山内太郎
2. 発表標題 ヒトの成長：ライフヒストリーの進化と成長パターンの変化
3. 学会等名 日本人類学会進化人類学分科会第39回シンポジウム「ヒトにとってオトナになるとはどういうことか？」
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yamauchi, T., & Funamizu, N.
2. 発表標題 The Sanitation Value Chain: Designing sanitation systems as eco-community-value systems
3. 学会等名 Zambia Water Forum and Exhibition (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Nyambe, S., Zulu, J., Hayashi, K. & Yamauchi, T.
2. 発表標題 Gauging the sanitation and health challenge for children and youth in the urban slums of Lusaka, Zambia
3. 学会等名 54th Annual Conference for Japan Association of African Studies
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 大野仁美
2. 発表標題 焦点表示と焦点関連構文：グイ語の場合
3. 学会等名 日本言語学会第155回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 丸山淳子
2. 発表標題 カラハリ砂漠の子育てに学ぶ
3. 学会等名 よこはま国際フォーラム (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Maruyama, J.
2. 発表標題 Nature conservation, land access and economic disparities among the San hunter-gathers in Southern Africa
3. 学会等名 France-Japan Area Studies Forum: Voices for the Future: African Area Studies in a Globalizing World (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Maruyama, J.
2. 発表標題 Divided Land, Shared Land: Recent Land Issues among the San hunter-gatherers in Central Kalahari
3. 学会等名 African Forum: African Potentials to Develop Alternative Methods of Addressing Global Issues
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 丸山淳子
2. 発表標題 先住民の法廷闘争と遊動生活：ボツワナのサンを事例に
3. 学会等名 シンポジウム：先住民族と法： 文化人類学、憲法学、国際法学の立場から
4. 発表年 2017年



1. 発表者名 丸山淳子
2. 発表標題 ボツワナにおける「ブッシュマン観光」の成立とその展開
3. 学会等名 日本アフリカ学会第54回学術大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takada, A.
2. 発表標題 Reconsidering regional structural comparison
3. 学会等名 International Symposium of Khoisan Linguistics: Riezlern 6 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takada, A.
2. 発表標題 Environmental perception and wayfinding practices in the Central Kalahari
3. 学会等名 The "Evolutionary Anthropology" Seminar (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takada, A.
2. 発表標題 Participation in rhythm: !Xun socialization through singing and dancing activities
3. 学会等名 Seminaire Special du CLLE-LTC (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takada, A.
2. 発表標題 Kyoto school of ecological anthropology
3. 学会等名 The Course of Atelier Ouvert des Cahiers d'Etudes Africaines (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takada, A.
2. 発表標題 Panelist of conversation hour, "fieldwork and family"
3. 学会等名 The 46th Annual Meeting of the Society for Cross-Cultural Research (SCCR) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takada, A.
2. 発表標題 Practices of early cultural learning: Responsibility formation in caregiver-infant interaction among the G ui/G  ana of Botswana
3. 学会等名 The Seminar of Laboratoire Ethologie Cognition, Developpement (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takada, A.
2. 発表標題 The cultural and ecological foundations of ethnicity among the !Xun of North-central Namibia
3. 学会等名 The Seminar of Comprendre les Relations Afrique-Asie: Espace Transversal de Recherches et d'Enseignement (CRAA-ETRE) (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takada, A.
2. 発表標題 Participation in rhythm: Peer group interactions among the !Xun San of Namibia
3. 学会等名 Tema Barn Higher Seminar Spring 2017 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takada, A.
2. 発表標題 Introduction(Organizer)
3. 学会等名 6th Seminar of Reconstructing the Paradigm of African Area Studies
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takada, A.
2. 発表標題 Introduction(Organizer)
3. 学会等名 4th Colloquium of Natural History of Landscape Formation
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takada, A.
2. 発表標題 Introduction(Organizer)
3. 学会等名 5th Seminar of Reconstructing the Paradigm of African Area Studies
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takada, A.
2. 発表標題 Introduction(Organizer)
3. 学会等名 3rd Colloquium of Natural History of Landscape Formation
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 高田 明
2. 発表標題 イントロダクション（オーガナイザー）
3. 学会等名 第2回景観形成の自然誌コロキウム.
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 高田 明
2. 発表標題 ナミビア北中部，クンとオバンボのコンタクトゾーンにおける景観の変遷
3. 学会等名 第2回景観形成の自然誌コロキウム
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 高田 明
2. 発表標題 養育者-子ども間相互行為における三者関係の枠組みを用いた行為指示連鎖
3. 学会等名 社会言語科学会第38回大会（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Takada, A.
2. 発表標題 Deconstructing in- and out-group biases: An ethnographic approach
3. 学会等名 The Symposium "Lights and Shadows of In and Outgroup Bias: From Development and Evolutionary Views" at 31st International Congress of Psychology (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Takada, A.
2. 発表標題 Introduction(Organizer)
3. 学会等名 1st Colloquium of Natural History of Landscape Formation
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 高田 明
2. 発表標題 やりとりの言語人類学 (ディスカッサント)
3. 学会等名 日本文化人類学会第50回研究大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Takada, A.
2. 発表標題 Towards the gesture analysis of early ethnographic films
3. 学会等名 Infant-Caregiver Interaction (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Takada, A.
2. 発表標題 Is there cultural evidence for different conceptions of attachment? (Group discussion)
3. 学会等名 Ernst Struengmann Forum "Contextualizing Attachment: The Cultural Nature of Attachment" (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Kimura, D.
2. 発表標題 Features of subsistence activities in the Upper West Region and grasscutter rearing
3. 学会等名 Ghana Grasscutter Project Workshop
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Kimura, D.
2. 発表標題 Congo war, long-distance walking trade and bushmeat hunting
3. 学会等名 Institutskolloquium, Institut für Ethnologie und Kulturwissenschaft
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 中川 裕
2. 発表標題 ガイ語の色彩語
3. 学会等名 日本アフリカ学会第53回学術大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 中川 裕
2. 発表標題 世界色彩俯瞰プロジェクトとカラハリ狩猟採集民の基礎色彩語
3. 学会等名 高知大学人文社会科学部人文社会科学科国際社会コース研究プロジェクト(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Nakagawa, H.
2. 発表標題 G ui basic color terms
3. 学会等名 International Symposium of Khoisan Linguistics: Riezlern 6 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yamauchi, T.
2. 発表標題 Contrasting lifestyles of contemporary hunter-gatherers in African rainforest: village camp vs. forest camp. Seeking the Human Landscape
3. 学会等名 Archaeology, Anthropology and Indigenous Studies (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山内太郎
2. 発表標題 すべての人に健康と福祉を: 肥満化・体力低下時代を生きる子どもたち
3. 学会等名 日本学術会議北海道地区会議学術講演会「持続可能な世界にむけて、国連が採択した目標(SDGs)に貢献する北海道の知」(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yamauchi, T., Hayashi, K., Kawamura, K., & Sato, H.
2. 発表標題 Nutritional adaptation of modern hunter-gatherers in African rainforests
3. 学会等名 Landscapes in the Anthropocene, France-Japan Joint Symposium (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 山内太郎
2. 発表標題 人類たずねて三千里: 異文化フィールドワーカー 幸せを考える
3. 学会等名 第91回サイエンス・カフェ札幌 (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Yamauchi, T.
2. 発表標題 Children living in the era of obesity and low physical fitness: Intergenerational changes in Japanese children
3. 学会等名 Symposium Proceedings. Joint Conference by the Japan Society for Physiological Anthropology and the Human Biology Association, MHAPR 2016 (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Umetsu, C., Sakurai, T., Yamauchi, T., Miyazaki, H., & Mwale, M.
2. 発表標題 Climate change, agricultural production and nutrition: Towards integrated policy design for food security
3. 学会等名 Japan Geoscience Union Meeting 2016 (招待講演)
4. 発表年 2016年



1. 発表者名 Nyambe, S. N., Hyashi, K., Zulu, J., & Yamauchi, T.
2. 発表標題 Saitation, health and children and youth civic participation in peri-urban Lusaka, Zambia: Assessing social values and quality of life
3. 学会等名 31st Japan International Health Society
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 長堀智香子, 金城芳秀, Tchuani, J. P., 山内太郎
2. 発表標題 カメルーンの子どもの栄養不良と離乳食開始時期の関連
3. 学会等名 第81回日本民族衛生学会総会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Nyambe, S., Serpell, R., & Yamauchi, T.
2. 発表標題 Equity in health and health promotion: An adolescent deaf-hearing substance abuse peer education project in Lusaka, Zambia
3. 学会等名 International Society of Environmental Epidemiology and International Society of Exposure Science- Asia Chapter Conference 2016
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Hasegawa, J., & Yamauchi, T.
2. 発表標題 Factors associated with stunting among children in Sinazongwe district, Zambia; a case control study
3. 学会等名 International Society of Environmental Epidemiology and International Society of Exposure Science- Asia Chapter Conference 2016
4. 発表年 2016年

1 . 発表者名 Maruyama, J.
2 . 発表標題 "Bushman tourism" in Botswana
3 . 学会等名 Workshop on Participatory Tourism in Africa (招待講演)
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Maruyama, J.
2 . 発表標題 Resettlement, conservation and tourism: Contemporary dynamics of residential moves among the San in Central Kalahari
3 . 学会等名 Seminar Series of the Centre for Society, Technology, and Development (STandD) (招待講演)
4 . 発表年 2016年

1 . 発表者名 Maruyama, J.
2 . 発表標題 Coming to political consciousness: The indigenous land rights movement among the San of Southern Africa
3 . 学会等名 Africanist Seminar Series of University of Toronto (招待講演)
4 . 発表年 2016年

1 . 発表者名 Maruyama, J.
2 . 発表標題 Land issues and global indigenous rights movement among the San hunter-gathers in Southern Africa: Comparison of two cases from Botswana and South Africa
3 . 学会等名 Department Speakers Series of the Department of Anthropology (招待講演)
4 . 発表年 2016年

1. 発表者名 Maruyama, J.
2. 発表標題 Dynamics of social relationships and residential practices among the San hunter-gatherers in Central Kalahari
3. 学会等名 Global South Studies Cologne Public Lectures 2016 (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Maruyama, J.
2. 発表標題 Possibilities and dilemmas of indigenous land rights movement of the San hunter-gatherers: Comparison of two cases from Botswana and South Africa
3. 学会等名 IUAES Inter-Congress
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Ono, H.
2. 発表標題 Focus marking and focus constructions in G ui
3. 学会等名 International Symposium of Khoisan Linguistics: Riezlern 6
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 寺嶋秀明
2. 発表標題 人類進化からみた平等の意味と働き
3. 学会等名 東北大学学際科学フロンティア主宰シンポジウム「人類社会における不平等の生成と発達」(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 藤岡悠一郎, Thomas, B., & Shivolo, O.
2. 発表標題 洪水: 干ばつ対応農法導入に対する農家の認識と実践: ナミビア北中部におけるSATREPSの事例
3. 学会等名 2016年国際開発学会第27回全国大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 藤岡悠一郎, 水落裕樹, 渡邊芳倫, 飯嶋盛雄
2. 発表標題 ナミビア北中部における季節性小湿地群の土壤水文環境による分類
3. 学会等名 日本地理学会2016年秋季学術大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 藤岡悠一郎, 手代木功基, 山科千里
2. 発表標題 モバネ植生帯の共通性と多様性: ナミビア北部を事例として
3. 学会等名 日本アフリカ学会第53回学術大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 藤岡悠一郎, 西川芳昭, 檜山哲哉, 水落裕樹, Simon, A., Osmund, M., 飯嶋盛雄
2. 発表標題 洪水: 干ばつ対応農法の提案に向けた農家と研究者の協働
3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2016年大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 藤岡悠一郎
2. 発表標題 ナミビア北中部における農地林の利用と管理にみられる変化
3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2016年大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 藤岡悠一郎
2. 発表標題 歴史の記憶装置としての農地林：ナミビア北部における樹木と人々との関係に関する一考察
3. 学会等名 2016年度東北地理学会春季学術大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 手代木功基, 藤岡悠一郎, 飯田義彦
2. 発表標題 安曇川上流域におけるトチノキ巨木の分布とその規定要因
3. 学会等名 2016年度東北地理学会春季学術大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 藤岡悠一郎
2. 発表標題 ナミビア北部農牧社会における洪水：干ばつ対応農法の検討
3. 学会等名 日本アフリカ学会東北支部会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 藤岡悠一郎
2. 発表標題 サバンナ農地林の社会生態誌：ナミビア北部にみる社会変容と資源利用
3. 学会等名 アフリカ地域研究会（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 藤岡悠一郎
2. 発表標題 ナミビア北部における気象災害と農業
3. 学会等名 海外学術調査フェスタ地域別分科会・サハラ以南アフリカ（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 藤岡悠一郎
2. 発表標題 ナミビア北部の農地林：樹木と人々の関わり
3. 学会等名 アフリカセミナー（招待講演）
4. 発表年 2016年

〔図書〕 計38件

1. 著者名 日本音楽教育学会、高田明	4. 発行年 2019年
2. 出版社 株式会社音楽之友社	5. 総ページ数 248
3. 書名 音楽教育研究ハンドブック	

1. 著者名 飯田卓、片岡樹、里見龍樹、高田明、津村文彦、中村潔、馬場淳	4. 発行年 2019年
2. 出版社 臨川書店	5. 総ページ数 360
3. 書名 コミュニケーション的存在論の人類学	

1. 著者名 Hewlett, B. L., Bombjakova D., Crittenden, A. N., Furniss, S., Headland, T. N., Hess, N., Howell, N., Kovats-Bernat, J. C., Le Bomin, S., Mckenna, J. J., Moise, R., Pandya, V., Purzycki, B. G., Quinlan, R. J., Reyes-Garcia, V., Takada, A., & Verdu, P.	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Routledge	5. 総ページ数 376
3. 書名 The Secret Lives of Anthropologists: Lessons from the Field	

1. 著者名 Beyer, K., Boden, G., Koehler, B., Zoch, U., Anyanwu, R-J., Barnard, A., Bemile, S. K., Chebanne, A. M., Diallo, A., Dimmendaal, G. J., Elderkin, E. D., Fehn, A-M., Gippert, J., Guldemann, T., Takada, A., et al.	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Ruediger Koeppel Verlag Koeln	5. 総ページ数 377
3. 書名 Linguistics across Africa: Festschrift for Rainer Vossen	

1. 著者名 松村圭一郎、中川理、石井美保、中空萌、山崎吾郎、久保明教、渡辺文、深田淳太郎、佐川徹、高田明、高橋絵里香、松嶋健、猪瀬浩平	4. 発行年 2019年
2. 出版社 世界思想社	5. 総ページ数 224
3. 書名 文化人類学の思考法	

1. 著者名 田中二郎	4. 発行年 2020年
2. 出版社 京都大学学術出版会	5. 総ページ数 288
3. 書名 ブッシュマンの民話	

1. 著者名 野尻英一、高瀬堅吉、松本卓也、高森 明、佐藤 愛、松本敏治、菅原和孝、竹中 均、三浦仁士、相川翼、内藤由佳、高橋一行、持留浩二、那須政玄、大隅典子、生田 孝、小嶋秀樹、加藤浩平、國分功一郎、熊谷晋一郎	4. 発行年 2019年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 392
3. 書名 自閉症学 のすすめ	

1. 著者名 大石高典、近藤祉秋、池田光穂、藪田慎司、池谷和信、小宮孟、村山美穂、今野晃嗣、山田仁史、石倉敏明、平野智佳子、合原織部、大道良太、北原次郎太、溝口元、志村真幸、菅原和孝、加藤秀雄、濱野千尋、小林舞、湯本貴和、牛山美穂、立澤史郎	4. 発行年 2019年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 480
3. 書名 犬からみた人類史	

1. 著者名 田付貞洋、佐藤宏明、足達太郎、藤岡悠一郎、岩田大生、坂本洋典、東城幸治、立田晴記、奥田隆、高須啓志、小路晋作、相内大吾、皆川昇、二見恭子、サンデー・エケシ、マヌエレ・タモ、前野ウルド浩太郎、八木繁実、岸田袈裟	4. 発行年 2019年
2. 出版社 海游舎	5. 総ページ数 320
3. 書名 アフリカ昆虫学	



1. 著者名 松浦直毅、山口亮太、高村伸吾、木村大治	4. 発行年 2020年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 280
3. 書名 コンゴ・森と河をつなぐ	

1. 著者名 渡邊淳司、ドミニク・チェン、安藤英由樹、坂倉杏介、村田藍子、伊藤亜紗、生貝直人、石川善樹、岡田美智男、小澤いぶき、神居文彰、木村大治、小林 茂、田中浩也、出口康夫、水野 祐、安田 登、山口揚平、吉田成朗、ラファエル・カルヴォ	4. 発行年 2020年
2. 出版社 ビー・エヌ・エヌ新社	5. 総ページ数 304
3. 書名 わたしたちのウェルビーイングをつくりあうために	

1. 著者名 木村 大治	4. 発行年 2018年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 304
3. 書名 見知らぬものと出会う	

1. 著者名 Sugawara, K.	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Transcript Verlag	5. 総ページ数 300
3. 書名 Breyer, T., & Widlok, T. (Eds.) The Situationality of Human-Animal Relations: Perspectives from Anthropology and Philosophy	

1. 著者名 Nakagawa, H., & Andy, C. (Eds.)	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Rudiger Koppe Verlag	5. 総ページ数 318
3. 書名 (Anthony Traill 's posthumous manuscript) A Trilingual !Xoo Dictionary: !Xoo-English-Setswana	

1. 著者名 Alena, W.M., & Nakagawa, H.	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Cambridge University Press	5. 総ページ数 -
3. 書名 Wolff, H. E. (Ed.), The Cambridge Handbook of African Linguistics	

1. 著者名 高田 明	4. 発行年 2019年
2. 出版社 新曜社	5. 総ページ数 236
3. 書名 相互行為の人類学: 「心」と「文化」が会う場所	

1. 著者名 藤岡悠一郎	4. 発行年 2019年
2. 出版社 海游舎	5. 総ページ数 320
3. 書名 田付 貞洋、佐藤 宏明、足達 太郎(編)アフリカ昆虫学 生物多様性とエスノサイエンス	

1. 著者名 田中二郎	4. 発行年 2017年
2. 出版社 京都大学学術出版会	5. 総ページ数 754
3. 書名 アフリカ文化探検ー半世紀の歴史から未来へ	

1. 著者名 島田周平・上田元(編), 成澤徳子, 水野一晴, 遠藤聡子, 池谷和信, 寺谷亮司, 佐川徹, 松村圭一郎, 佐藤廉也, 藤岡悠一郎, 丸山淳子, 伊藤千尋, 小川さやか, 大門碧, 遠藤貢, 福西隆弘, 西浦昭雄, 吉田栄一, 目黒紀夫, 荒木美奈子, 松本尚之	4. 発行年 2017年
2. 出版社 朝倉書店	5. 総ページ数 163
3. 書名 世界地誌シリーズ8 アフリカ	

1. 著者名 阿部和俊(編), 藤巻正己, 由井義通, 吉田雄介, 荒又美陽, 水野一晴, 飯田雅史, 藤岡悠一郎, 寺谷亮司	4. 発行年 2017年
2. 出版社 古今書院	5. 総ページ数 74
3. 書名 都市の景観地理 アジア・アフリカ編	

1. 著者名 Favareau, D.(ed.), Aronsson, K., Burdelski, M., Cekaite, A., Couper-kuhlen, E., De Leon, L., Deppermann, A., Enfield, N. J., Everhart, D., Ford, C. E., Foster, J. B., & Cartmill E. A., Fox, B., & Thompson, S. A., Haviland, J., Hayashi, Takada, A. et al.	4. 発行年 2018年
2. 出版社 The University of Tartu Press	5. 総ページ数 416
3. 書名 Co-operative Engagements in Intertwined Semiosis: Essays in Honour of Charles Goodwin	

1. 著者名 池谷和信(編), 小野林太郎, 那須浩郎, 鶴見英成, 小泉都, 佐藤廉也, 金沢謙太郎, 大石高典, 稲村哲也, 関野吉晴, 八塚春名, 手塚薫, 信田敏宏, 高田明, 松浦直毅, 小谷真吾, 服部志帆, 大橋麻里子, 加藤裕美, 山本太郎	4. 発行年 2017年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 307
3. 書名 狩猟採集民からみた地球環境史: 自然・隣人・文明との共生	

1. 著者名 松岡悦子(編), 小浜正子, 菅沼ひろ子, 日隈ふみ子, 安井真奈美, 白井千晶, 菊池真理, 鈴木七美, 磯部美里, 高田明, 上野加代子, 安里和晃, 青木加奈子	4. 発行年 2017年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 309
3. 書名 子どもを産む・家族をつくる人類学: オールタナティブへの誘い	

1. 著者名 Keller, H. & Bard, K. A. (Eds.), Bard, K. A., Beeghly, M., Bennet, A. J., Bohr, Y., Chaudhary, N., Chen, S. H., Chisholm, J., Fairbanks, L. A., Feldman, R., Finlay, B. L., Gaskins, S., Gazzola, V., Gernhardt, A., Giedd, J., Gottlieb, A., Hawkes, K., Hopkins, W. D., Takada, A., et al.	4. 発行年 2017年
2. 出版社 MIT Press	5. 総ページ数 429
3. 書名 The cultural nature of attachment: Contextualizing relationships and development	

1. 著者名 丸山淳子	4. 発行年 2018年
2. 出版社 昭和堂	5. 総ページ数 280
3. 書名 深山直子, 丸山淳子, 木村真希子(編) 『先住民からみる現代世界: わたしたちの あたりまえ に挑む』	

1. 著者名 丸山淳子	4. 発行年 2017年
2. 出版社 古今書院	5. 総ページ数 212
3. 書名 白石壮一郎, 椎野若菜(編) 『100万人のフィールドワーカーシリーズ：社会問題と出会う』	

1. 著者名 高田 明, 木村大治, 石垣 忍, 井関和代, 伊藤宏司, 岩田浩康, 宇野洋二, 金子 真, 金子守恵, 亀井伸孝, 木下 博, 木下靖子, 木村敏之, 熊倉博雄, 河内まき子, 近藤敏之, 菅原和孝, 多田充徳, 田中雅一, 内藤栄一, 八田武志, 原田研介, 広瀬浩二郎, 細馬宏通, 細谷 聡, 古沢 仁, 宮田真也, 村田 哲, 森 健人ほか	4. 発行年 2017年
2. 出版社 朝倉書店	5. 総ページ数 608
3. 書名 手の百科事典	

1. 著者名 藤岡悠一郎, 内山 節, 田口洋美, 蛭原一平, 芳賀和樹, 長谷川成一, 大島丈志, 川島秀一, たくきよしみつ, 羽根田 治, 謝 黎	4. 発行年 2016年
2. 出版社 はる書房	5. 総ページ数 276
3. 書名 東北学 2016 No.08	

1. 著者名 藤岡悠一郎, 泉 直亮, 伊谷樹一, 大山修一, 加藤 太, 桐越仁美, 黒崎龍悟, 近藤 史, 佐藤泰章, 四方 篤, 重田真義, 山本佳奈, 吉村友希	4. 発行年 2016年
2. 出版社 京都大学学術出版会	5. 総ページ数 360
3. 書名 争わないための生業実践：生態資源と人びとの関わり	

1. 著者名 菅原和孝	4. 発行年 2017年
2. 出版社 弘文堂	5. 総ページ数 720
3. 書名 動物の境界：現象学から展成の自然誌へ	

1. 著者名 菅原和孝, 野田研一, 奥野克己, 近藤祉秋, 山田悠介, 山本洋平, 山田仁史, 北川扶生子, 唐戸信嘉, 李恩善, 河野哲也, 中村邦夫, 島田将喜, 宮澤 楓, 辻 貴志, 相馬拓也	4. 発行年 2016年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 391
3. 書名 鳥と人間をめぐる思考：環境文学と人類学の対話	

1. 著者名 Terashima, H., & Kawai, K.	4. 発行年 2017年
2. 出版社 Kyoto University Press and Trans Pacific Press	5. 総ページ数 461
3. 書名 Institutions: The evolution of human sociality	

1. 著者名 Takada, A., Yamauchi, T., Yujie, P., Sonoda, K., Hagino, I., Imamura, K., Kaneko, M., Kubota, S., Koyama, T., Yamagami, E., Terashima, H., Omura, K., & Ando, J.	4. 発行年 2016年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 318
3. 書名 Social learning and innovation in contemporary hunter-gatherers: Evolutionary and ethnographic perspectives	

1. 著者名 Takada, A., Nakagawa, H. Tanaka, J., Ikeya, K., Imamura, K., Akiyama, H., Sugawara, K., Ono, H., Widlok, T., & Maruyama, J.	4. 発行年 2016年
2. 出版社 The Center for African Area Studies, Kyoto University	5. 総ページ数 187
3. 書名 Special issue: Natural history of communication among the Central Kalahari San. African Study Monographs, Supplementary Issue, 52	
1. 著者名 高田 明, 池谷和信, 小野林太郎, 那須浩郎, 三宅 裕, 鶴見英成, 小泉 都, 佐藤廉也, 金沢謙太郎, 大石高典, 稲村哲也, 関野吉晴, 八塚春名, 手塚 薫, 信田敏宏, 松浦直毅, 小谷真吾, 服部志帆, 大橋麻里子, 加藤裕美, 山本太郎	4. 発行年 2017年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 320
3. 書名 狩猟採集民からみた地球環境史: 自然・隣人・文明との共生	
1. 著者名 高田 明, 松岡悦子, 小浜正子, 菅沼ひろ子, 日隈ふみ子, 安井真奈美, 白井千晶, 菊地真理, 鈴木七美, 磯部美里, 上野加代子, 安里和晃, 青木加奈子	4. 発行年 2017年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 309
3. 書名 子どもを産む・家族をつくる人類学: オールタナティブへの誘い	
1. 著者名 Takada, A., Lovis, W. A., Whallon, R., Jarvenpa, R., Brumbach, H. J., Oetelaar, G. A., Aporta, C., Whitridge, P. J., O'Meara, C. K., Politis, G. G., Vaarzon-Morel, P., & Lye, T. P.	4. 発行年 2016年
2. 出版社 Routledge	5. 総ページ数 289
3. 書名 Marking the land: Hunter-gatherer creation of meaning in their environment	

1. 著者名 丸山淳子, 小川さやか, 井上敏昭, 岩田有史, 風戸真理, 岸上伸啓, 近藤宏, 田島知之, 立川陽仁, 中川理, 丹羽典生, 藤本透子, 山口睦	4. 発行年 2016年
2. 出版社 臨川書店	5. 総ページ数 324
3. 書名 贈与論再考: 人間はなぜ他者に与えるのか	

〔産業財産権〕

〔その他〕

<p>アフリカ狩猟採集民・農牧民のコンタクトゾーンにおける景観形成の自然誌  <a href="http://www.cci.jambo.africa.kyoto-u.ac.jp/nlf/">http://www.cci.jambo.africa.kyoto-u.ac.jp/nlf/</a>          上記の英文HP  <a href="http://www.cci.jambo.africa.kyoto-u.ac.jp/nlf/en/">http://www.cci.jambo.africa.kyoto-u.ac.jp/nlf/en/</a></p>
--

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	山内 太郎  (Yamauchi Taro)  (70345049)	北海道大学・保健科学研究院・教授    (10101)	
研究分担者	木村 大治  (Daiji Kimura)  (40242573)	京都大学・アフリカ地域研究資料センター・教授    (14301)	
研究分担者	中川 裕  (Hirosi Nakagawa)  (70227750)	東京外国語大学・大学院総合国際学研究院・教授    (12603)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計10件



国際研究集会 第9回景観形成の自然誌コロキウム	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 第10回景観形成の自然誌コロキウム	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 第7回景観形成の自然誌コロキウム	開催年 2018年～2018年
国際研究集会 第8回景観形成の自然誌コロキウム	開催年 2018年～2018年
国際研究集会 第6回景観形成の自然誌コロキウム	開催年 2017年～2017年
国際研究集会 第5回景観形成の自然誌コロキウム	開催年 2017年～2017年
国際研究集会 1st Colloquium of Natural History of Landscape Formation	開催年 2016年～2016年
国際研究集会 2nd Colloquium of Natural History of Landscape Formation	開催年 2016年～2016年
国際研究集会 3rd Colloquium of Natural History of Landscape Formation	開催年 2017年～2017年
国際研究集会 4th Colloquium of Natural History of Landscape Formation	開催年 2017年～2017年

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関			
ドイツ	ケルン大学			
英国	ロンドン大学	ポーツマス大学		
マレーシア	サインズ大学			
カメルーン	ヤウンデ第1大学			
南アフリカ	ケープタウン大学			
カナダ	マギル大学			
フランス	社会科学高等研究院			
イギリス	エジンバラ大学			